



見たい!
知りたい!

サラビット

普段は見えないサービスの仕組み。
知っているようで、意外と知らない実際。
保健・医療・介護・福祉の“見たい”“知りたい”に
サラネットのマスコット「サラビット」が迫ります。

知ってる? 「訪問リハビリテーション」のこと

みなさんは「訪問リハビリテーション」って知ってる? なんとなく聞いたことがあるけど、内容は知らないという方が多いかも。そこで今回は、コミュニティホーム白石で「訪問リハビリテーション」についてお話を聞いてきたよ。



案内してくれたのはこの方

リハビリテーション部 課長
認定理学療法士
やまもと ゆうじ
山本 祐司さん

コミュニティホーム白石

〒003-0024 札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
電話:011-864-5321

訪問リハビリテーションって、なにをしてくれるの?

訪問リハビリテーションは、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が医師の指示に基づき、利用者さんの自宅を訪問してリハビリテーションをおこなうサービスだよ。利用者さんの心身機能の維持・回復や日常生活の自立を助けることがおもな目的なんだ。内容は利用者さんの身体の状態によって、歩行練習や日常生活での動作訓練、認知症に対する運動や脳トレなどさまざまだよ。



利用者さんの状態に合わせて、マンツーマンでのリハビリテーションをおこなっているよ。



必要なものは専門スタッフが用意

必要なものは、ご自宅にうかがう専門スタッフが持参するよ。そのほか、いつも暮らしている場所にあるもの(階段や手すり、家具など)を使って、運動や訓練をおこなうんだ。新たに用意するものはないから気軽だね。

スタッフが持参するもの



- ① 血圧計
- ② ストップウォッチ
- ③ 訓練用ウエイト
- ④ 訓練用ゴムチューブ
- ⑤ メジャー

感染症対策グッズとして、酸素飽和度測定器、手指用アルコール消毒液、フェイスガードなども常備しているよ。



コミュニティホーム白石の特徴は?

運動や日常動作、家事動作などの練習をおこなう理学療法士や作業療法士、食べたり書いたりする練習をおこなう言語聴覚士が週1~3回ご自宅を訪問するよ。1回約40~60分で、状態に合わせたリハビリテーションをするんだ。そのほかにも必要に応じて、医師や相談員が同行することもあるよ。



左・理学療法士 藤井さん
右・作業療法士 小林さん

現在は、理学療法士2名、作業療法士1名、医師1名、相談員1名という体制でリハビリテーションにあたっているんだ。



サービスを受けるには、どうしたらいいの?

介護保険証の認定や医師からリハビリテーションが必要と診断された方が利用できるよ。くわしくは地域のケアマネジャーさんや通所している介護施設などに相談してみてね。

コミュニティホーム白石では「無料体験」ができるんだって。